

平成29年度 財政状況資料集

総括表（都道府県）

都道府県名	鹿児島県		職員の状況（※7）				区分		平成29年度（千円）	平成28年度（千円）	区分		平成29年度（千円・%）	平成28年度（千円・%）						
			区分	定数	1人あたり平均給料月額（百円）		歳入総額	歳出総額	実質収支比率	経常収支比率	（※1）	標準財政規模	財政力指数	公債費負担比率	健全化判断比率	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率	資金不足比率（※4）
グループ	D		知事	1	12,400		歳入歳出差引	18,954,605	26,694,426	15,484,922	21,351,639	475,495,084	476,564,305							
人口	27年国調（人）	1,648,177	副知事	2	9,700		翌年度に繰越すべき財源	3,469,683	5,342,787	15,484,922	21,351,639	0.34288	0.33303							
	22年国調（人）	1,706,242	教育長	1	7,700		実質収支	-1,873,104	748,247	15,484,922	21,351,639	22.9	23.9							
	増減率（%）	-3.4	議会議長	1	9,700		単年度収支	4,350,365	2,285,263	15,484,922	21,351,639									
住民基本台帳人口（※6）	30.01.01（人）	1,655,888	議会副議長	1	8,700		積立金	4,338,747	2,269,112	15,484,922	21,351,639	12.8	13.8							
	うち日本人（人）	1,646,915	議会議員	49	7,800		繰上償還金	-1,861,486	764,398	15,484,922	21,351,639	219.9	220.5							
	29.01.01（人）	1,668,003	区分	職員数（人）	給料月額（百円）	1人あたり平均給料月額（百円）	積立金取崩し額	4,338,747	2,269,112	15,484,922	21,351,639									
	うち日本人（人）	1,660,215	一般職員	6,812	22,540,908	3,309	実質単年度収支	-1,861,486	764,398	15,484,922	21,351,639									
	増減率（%）	-0.7	うち消防職員	-	-	-	基準財政収入額	140,011,233	137,927,776	15,484,922	21,351,639									
	うち日本人（%）	-0.8	うち技能労務職員	283	933,051	3,297	基準財政需要額	404,947,619	406,485,594	15,484,922	21,351,639									
面積（km ² ）	9.187		警察官	3,058	9,446,162	3,089	標準税収入額等	174,847,158	172,055,337	15,484,922	21,351,639									
人口密度（人/km ² ）	180		教育公務員	13,958	53,280,725	3,817	経常経費充当一般財源等	463,235,964	460,717,287	15,484,922	21,351,639									
世帯数（世帯）	724,690		臨時職員	-	-	-	教育一般財源等	544,999,738	540,322,041	15,484,922	21,351,639									
			合計	23,828	85,267,795	3,578	地方債現在高	1,622,293,585	1,636,542,957	15,484,922	21,351,639									
			ラスパイレース指数	96.8			うち公的資金	544,419,418	592,958,444	15,484,922	21,351,639									
							債務負担行為額（支出予定額）	53,223,253	59,749,605	15,484,922	21,351,639									
							収益事業収入	3,830,688	4,282,031	15,484,922	21,351,639									
							定額運用基金	6,000,000	6,000,000	15,484,922	21,351,639									
							土地開発基金	6,000,000	6,000,000	15,484,922	21,351,639									
							積立金現在高	17,556,166	17,544,548	15,484,922	21,351,639									
							減債基金	7,437,131	7,431,903	15,484,922	21,351,639									
							その他特定目的基金	54,934,919	50,962,095	15,484,922	21,351,639									
一般会計等の一覧	事業会計の一覧	公営企業（法適）の一覧	公営企業（法非適）の一覧	関係する一部事務組合等一覧	地方公社・第三セクター等一覧															
項番	会計名	項番	会計名	項番	会計名	項番	会計名	項番	組合等名	項番	団体名									
(1)	一般会計			(9)	鹿児島県工業用水道事業特別会計	(11)	鹿児島県港湾整備事業特別会計			(12)	鹿児島県文化振興財団									
(2)	母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計			(10)	鹿児島県病院事業特別会計					(13)	肥薩おれんじ鉄道株式会社									
(3)	中小企業支援資金貸付事業特別会計									(14)	鹿児島県森林整備公社									○
(4)	就農支援資金貸付事業特別会計									(15)	万之瀬川水源基金									
(5)	公共土木用地取得先行事業等特別会計									(16)	鹿児島県林業担い手育成基金									
(6)	林業・木材産業改善資金貸付事業特別会計									(17)	鹿児島県環境整備公社									
(7)	沿岸漁業改善資金貸付事業特別会計									(18)	鹿児島県環境技術協会									
(8)	公債管理特別会計									(19)	屋久島環境文化財団									
										(20)	かごしまみどりの基金									
										(21)	鹿児島県民総合保健センター									

（注釈）※1：経常収支比率の（）内の数値は、「減収補填債（特例分）」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。
 ※2：各会計の一覧は主会計（10会計まで）を記載している。
 ※3：地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。
 ※4：資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。
 ※5：個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額（百円）」と「1人あたり給料月額（百円）」を「アスタリスク（*）」としている。（その他、数値のない欄については、すべてハイフン（-）としている）。
 ※6：人口については、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※7：職員の状況については、地方公務員給与実態調査に基づくものであるが、当該資料作成時点（平成31年1月末時点）において平成30年調査結果が未公表であるため、前年度の数値を引用している。

(1) 普通会計の状況（都道府県）

歳入の状況（単位 千円・％）					道府県税の状況（単位 千円・％）				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	
地方税	180,084,010	22.4	144,980,101	33.0	普通税	179,901,985	99.9	1,113,097	
地方譲与税	26,809,141	3.3	26,809,141	6.1	法定普通税	178,682,965	99.2	1,113,097	
地方揮発油譲与税	3,480,686	0.4	3,480,686	0.8	道府県民税	49,925,449	27.7	1,113,097	
地方道路譲与税	-	-	-	-	個人均等割	1,456,410	0.8	364,506	
特別とん譲与税	-	-	-	-	所得割	41,010,314	22.8	-	
石油ガス譲与税	151,815	0.0	151,815	0.0	法人均等割	1,783,825	1.0	84,693	
航空機燃料譲与税	44,343	0.0	44,343	0.0	法人税割	3,727,966	2.1	663,898	
地方法人特別譲与税	23,132,297	2.9	23,132,297	5.3	利子割	520,429	0.3	-	
市町村たばこ税都道府県交付金	-	-	-	-	配当割	660,629	0.4	-	
地方特例交付金	597,728	0.1	597,728	0.1	株式等譲渡所得割	765,876	0.4	-	
地方交付税	270,558,540	33.6	264,616,929	60.3	事業税	29,464,978	16.4	-	
普通交付税	264,616,929	32.9	264,616,929	60.3	個人分	1,292,294	0.7	-	
特別交付税	5,921,497	0.7	-	-	法人分	28,172,684	15.6	-	
震災復興特別交付税	20,114	0.0	-	-	地方消費税	60,734,403	33.7	-	
(一般財源計)	478,049,419	59.4	437,003,899	99.6	不動産取得税	4,014,836	2.2	-	
交通安全対策特別交付金	581,822	0.1	581,822	0.1	道府県たばこ税	1,778,584	1.0	-	
分担金・負担金	4,666,081	0.6	-	-	ゴルフ場利用税	397,802	0.2	-	
使用料	8,018,607	1.0	785,612	0.2	自動車取得税	1,828,184	1.0	-	
手数料	4,108,417	0.5	-	-	軽油引取税	12,759,654	7.1	-	
国庫支出金	154,125,353	19.1	-	-	自動車税	17,770,783	9.9	-	
国有提供交付金	-	-	-	-	鉱区税	8,292	0.0	-	
財産収入	4,991,942	0.6	28,407	0.0	固定資産税特例	-	-	-	
寄附金	67,603	0.0	-	-	法定外普通税	1,219,020	0.7	-	
繰入金	12,857,867	1.6	-	-	目的税	182,018	0.1	-	
繰越金	26,694,426	3.3	-	-	法定目的税	26,607	0.0	-	
諸収入	12,145,219	1.5	357,505	0.1	狩猟税	26,607	0.0	-	
地方債	98,703,297	12.3	-	-	法定外目的税	155,411	0.1	-	
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-	旧法による税	7	0.0	-	
うち臨時財政対策債	36,030,997	4.5	-	-	合計	180,084,010	100.0	1,113,097	
歳入合計	805,010,053	100.0	438,757,245	100.0					

区分		平成29年度		平成28年度		
徴収率 (%)	現・計	合計	99.4	98.5	99.6	98.4
		道府県民税	99.0	96.6	99.2	96.3
		事業税	99.9	99.7	99.9	99.7

(注釈)
普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、
単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

歳出の状況（単位 千円・％）					
目的別歳出の状況（単位 千円・％）					
区分	決算額 (A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等	
議会費	1,346,436	0.2	-	1,346,253	
総務費	50,985,849	6.5	8,090,556	41,568,284	
民生費	134,878,911	17.2	946,533	116,138,779	
衛生費	28,128,403	3.6	4,455,730	14,207,023	
労働費	1,778,798	0.2	30,353	849,094	
農林水産業費	78,901,951	10.0	52,927,309	20,974,815	
商工費	11,713,187	1.5	4,868,065	5,117,762	
土木費	86,824,529	11.0	74,840,727	14,013,178	
警察費	37,534,341	4.8	4,243,312	32,325,190	
消防費	-	-	-	-	
教育費	183,319,905	23.3	6,269,844	134,032,534	
災害復旧費	10,242,504	1.3	-	260,756	
公債費	127,778,649	16.3	-	125,216,408	
諸支出金	-	-	-	-	
前年度繰上充用金	-	-	-	-	
利子割交付金	310,149	0.0	-	310,149	
配当割交付金	376,784	0.0	-	376,784	
株式等譲渡所得割交付金	373,255	0.0	-	373,255	
分離課税所得割交付金	-	-	-	-	
道府県民税所得割臨時交付金	-	-	-	-	
地方消費税交付金	30,013,199	3.8	-	30,013,199	
ゴルフ場利用税交付金	287,322	0.0	-	287,322	
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	
自動車取得税交付金	1,261,276	0.2	-	1,261,276	
軽油引取税交付金	-	-	-	-	
特別区財政調整交付金	-	-	-	-	
歳出合計	786,055,448	100.0	156,672,429	538,672,061	
性質別歳出の状況（単位 千円・％）					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	379,527,625	48.3	325,455,886	324,587,543	68.4
人件費	225,044,944	28.6	188,232,028	187,573,841	39.5
うち職員給	167,800,625	21.3	133,631,435	133,631,435	28.1
扶助費	27,011,176	3.4	12,314,594	12,312,034	2.6
公債費	127,471,505	16.2	124,909,264	124,701,668	26.3
元利償還金	127,471,505	16.2	124,909,264	124,701,668	26.3
内 うち元金	112,952,669	14.4	110,390,428	110,234,433	23.2
内 うち利子	14,518,836	1.8	14,518,836	14,467,235	3.0
一時借入金利子	-	-	-	-	-
その他の経費	239,612,890	30.5	194,160,797	138,648,421	29.2
物件費	25,291,162	3.2	16,564,648	15,509,780	3.3
維持補修費	4,452,801	0.6	3,721,638	3,721,638	0.8
補助費等	188,664,084	24.0	159,922,164	118,683,347	25.0
繰入金	996,757	0.1	973,209	-	-
積立金	16,947,489	2.2	12,130,562	-	-
投資及び出資金	11,334	0.0	11,334	-	-
貸付金	3,249,263	0.4	837,242	733,656	0.2
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	166,914,933	21.2	19,055,378	-	-
うち人件費	2,729,607	0.3	555,879	-	-
普通建設事業費	156,672,429	19.9	18,794,622	-	-
うち補助	109,026,731	13.9	4,376,170	-	-
うち単独	39,762,749	5.1	14,361,006	-	-
災害復旧事業費	10,242,504	1.3	260,756	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	786,055,448	100.0	538,672,061	-	-

(2)各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（都道府県）

平成29年度 鹿児島県

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1 一般会計	831,070	813,398	17,672	3,424	12,994	1,716,618	
2 母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計	388	214	174	-	6	432	
3 中小企業支援資金貸付事業特別会計	166	164	2	-	6	3,287	
4 就農支援資金貸付事業特別会計	126	84	42	-	0	271	
5 公共土木用地取得先行事業等特別会計	218	218	0	0	0	188	
6 林業・木材産業改善資金貸付事業特別会計	289	3	286	-	0	0	
7 沿岸漁業改善資金貸付事業特別会計	748	15	733	-	0	0	
8 公債管理特別会計	205,504	205,459	45	45	127,068	0	
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
41							
42							
43							
44							
45							
46							
47							
48							
49							
50							
51							
52							
53							
54							
55							
56							
57							
58							
59							
60							
61							
62							
63							
64							
65							
66							
67							
68							
69							
70							
71							
72							
73							
74							
75							
76							
77							
78							
79							
80							
81							
82							
83							
84							
85							
86							
87							
88							
89							
90							
91							
92							
93							
94							
95							
96							
97							
98							
99							
100							
101							
102							
103							
104							
105							
106							
107							
108							
109							
110							
111							
112							
113							
114							
115							
116							
117							
118							
119							
120							
121							
122							
123							
124							
125							
126							
127							
128							
129							
130							
131							
132							
133							
134							
135							
136							
137							
138							
139							
140							
141							
142							
143							
144							
145							
146							
147							
148							
149							
150							
151							
152							
153							
154							
155							
156							
157							
158							
159							
160							
161							
162							
163							
164							
165							
166							
167							
168							
169							
170							
171							
172							
173							
174							
175							
176							
177							
178							
179							
180							
181							
182							
183							
184							
185							
186							
187							
188							
189							
190							
191							
192							
193							
194							
195							
196							
197							
198							
199							
200							
201							
202							
203							
204							
205							
206							
207							
208							
209							
210							
211							
212							
213							
214							
215							
216							
217							
218							
219							
220							
221							
222							
223							
224							
225							
226							
227							
228							
229							
230							
231							
232							
233							
234							
235							
236							
237							
238							
239							
240							
241							
242							
243							
244							
245							
246							
247							
248							
249							
250							
251							
252							
253							
254							
255							
256							
257							
258							
259							
260							
261							
262							
263							
264							
265							
266							
267							
268							
269							
270							
271							
272							
273							
274							
275							
276							
277							
278							
279							
280							
281							
282							
283							
284							
285							
286							
287							
288							
289							
290							
291							
292							

(3) 都道府県財政比較分析表(普通会計決算)

平成29年度

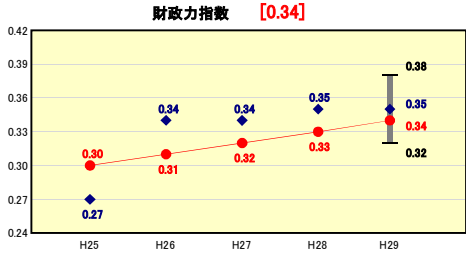
鹿児島県

人	1,655,888	人(H30.1.1現在)	実	赤	字	比	-	%
うち日本人	1,646,915	人(H30.1.1現在)	連	結	実	赤	-	%
面積	9,187.01	km ²	実	公	債	費	12.8	%
歳入総額	805,010,053	千円	得	来	負	担	219.9	%
歳出総額	786,065,448	千円	(年	度	毎		
実収支	3,469,683	千円	H25	E	H26	D	H27	D
標準財政規模	476,496,084	千円	H28	D	H29	D		
地方債現在高	1,622,293,585	千円						



※ グループとは、道府県を財政力指数の高低によって5つに分類したものである。
 [Aグループ 1.000以上、Bグループ 0.500以上1.000未満、Cグループ 0.400以上0.500未満、Dグループ 0.300以上0.400未満、Eグループ 0.300未満]
 ※ 「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。
 ※ 「定員管理の状況」及び「給与水準(国との比較)」は地方公務員給与実態調査に基づくものであるが、当該資料作成時点(平成31年1月末時点)において平成30年調査結果が未公表であるため、平成29年度の数値については、前年度の数値を引用している。
 ※ 人口については、各調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※ グループ内順位及び都道府県平均は、平成29年度決算の状況である。また同一グループの団体が存在しない場合、グループ内順位を表示しない。

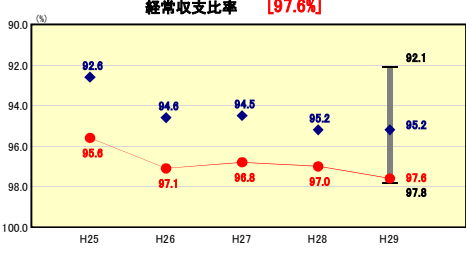
財政力



財政力指数の分析簡

前年度より0.01ポイント上昇したものの、グループ内平均を下回る0.34となっている。近年は個人県民税等の増収により上昇しているが、一方で、本県は高齢化が進行するとともに、外海離島や半島を有し、社会資本整備が立ち遅れていることなどから、財政需要も増大しており、依然として厳しい財政状況にある。引き続き、持続可能な行政構造を構築するため、行政改革に取り組んでいるところである。

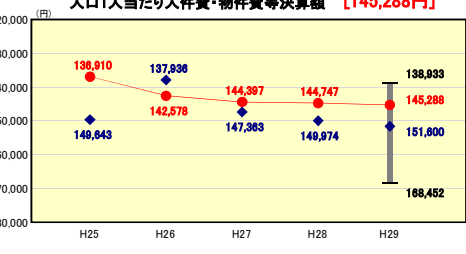
財政構造の弾力性



経常収支比率の分析簡

前年度より0.6ポイント上昇し、グループ内平均を上回る97.6%となっている。平成29年度は、給与改定や退職手当の増などによる人件費の増や子ども子育て支援制度移行に伴う施設型給付費負担金など社会保障等に要する経費の増による補助費等の増などにより分子である歳出が増となった一方、普通交付税とその振替である臨時財政対策債の合計が減少したことで分母である歳入が減となったことにより上昇したものである。今後とも、臨時財政対策債を除く本県独自に発行する県債の新規発行の抑制による公債費の縮減を図るとともに、職員数の縮減や職員給の見直しによる人件費の削減などにより、改善を図っていくこととしている。

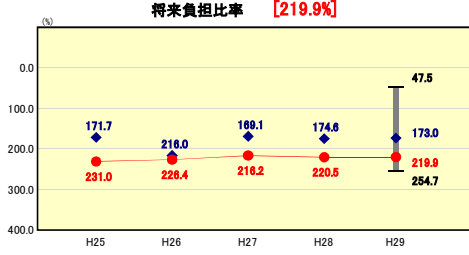
人件費・物件費等の状況



人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析簡

前年度より541円増加したものの、グループ内平均を下回る145,288円となっている。平成29年度は、給与改定や退職者の増による退職手当の増などによる人件費の増により、前年度より増となっている。これまで、平成16年度に策定した「県政刷新大綱」や平成23年度に策定した「行政運営戦略」を踏まえ、職員数の縮減、職員給の見直し等による人件費の圧縮や、必要性・効率性の観点からリハ(リ)をつけた物件費の見直し等に取り組んできたところである。今後とも、これまでの取組を進めていくこととしている。

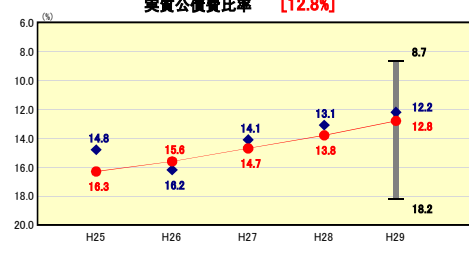
将来負担の状況



将来負担比率の分析簡

前年度より0.6ポイント低下したものの、グループ内平均を上回る219.9%となっている。平成23年度に策定した「行政運営戦略」を踏まえた臨時財政対策債を除く本県独自に発行する県債残高を抑制する取組などにより低下する一方で、他団体も地方債残高の抑制に努めており、標準財政規模に対する県債残高の規模がグループ内の他団体を引き続き上回っていることから、グループ内平均を上回る状況が続いている。今後とも、本県が独自に発行する県債残高の抑制を図ることとしている。

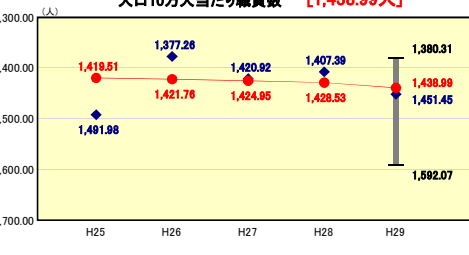
公債費負担の状況



実質公債費比率の分析簡

前年度より1.0ポイント低下したものの、グループ内平均を上回る12.8%となっている。最近の低金利を反映した加重平均利率の低下等により、元利償還金が減少したこと等から、単年度の実質公債費比率が低下する一方、標準財政規模に対する県債残高がグループ内他団体を引き続き上回っていることから、実質公債費比率も引き続き平均を上回る状況が続いている。今後とも、臨時財政対策債を除く本県が独自に発行する県債の発行を抑制することなどにより、将来の公債費負担の抑制を図ることとしている。

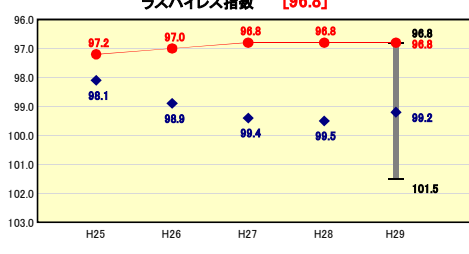
定員管理の状況



人口10万人当たり職員数の分析簡

前年度より10.46人増加したものの、グループ内平均を下回る1,438.99人となっている。近年はほぼ同水準で推移しているが、これは、これまで平成17年12月に策定した「組織機構改革方針」に基づく組織機構の見直し等により、一般行政部門の職員数について1,000人以上の純減を行ってきた一方で、人口の減少率が大きいことが影響しているためである。今後とも、簡素で効率的な組織機構の整備や民間活力の活用などの取組を進めることにより、業務量に応じた職員の適正配置を行い、その縮減を図ることとしている。

給与水準(国との比較)



ラスパイレス指数の分析簡

ラスパイレス指数は96.8となっており、グループ内で最も低くなっている。これは、職務給の徹底などの取組によるものである。今後とも、給与制度の見直しや適切な運用に努めることとしている。

※ラスパイレス指数は地方公務員給与実態調査に基づくものであるが、当該資料作成時点(平成31年1月末時点)において、平成30年調査結果が未公表のため平成29年度の数値については平成29年調査結果の数値を引用している。

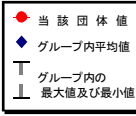
(4)-1 都道府県経常経費分析表(普通会計決算)

平成29年度

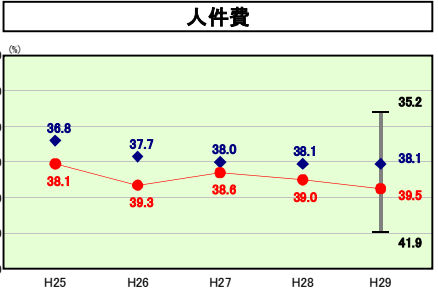
鹿児島県

経常収支比率の分析

人口	1,655,888	人(H30.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	1,646,915	人(H30.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	9,187.01	km ²	実質公債費比率	12.8	%
歳入総額	805,010,053	千円	将来負担比率	219.9	%
歳出総額	786,055,448	千円			
実質収支	3,469,683	千円	グループ	H25 E H26 D H27 D	
標準財政規模	475,495,084	千円	(年度毎)	H28 D H29 D	
地方債現在高	1,622,293,585	千円			

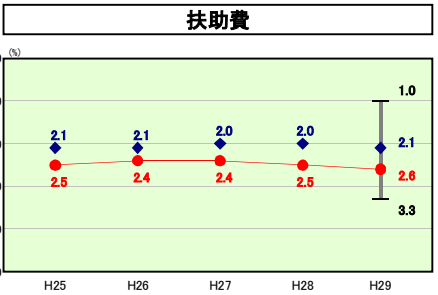


※ グループとは、道府県を財政力指数の高低によって5つに分類したものである。
 [Aグループ 1.000以上、Bグループ 0.500以上1.000未満、Cグループ 0.400以上0.500未満、Dグループ 0.300以上0.400未満、Eグループ 0.300未満]
 ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。
 ※ グループ内順位及び都道府県平均は、平成29年度決算の状況である。また同一グループの団体が存在しない場合、グループ内順位を表示しない。



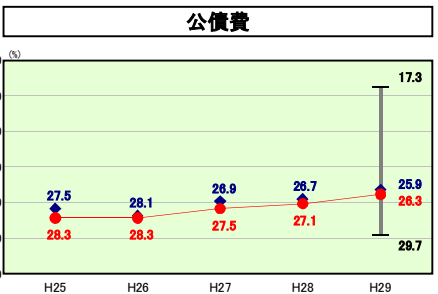
人件費の分析

平成29年度は給与改定や退職者の増に伴う退職手当の増などにより0.5ポイント上昇し、グループ内平均を上回る39.5%となっている。これは、グループ内の他団体と比べ、給与水準を示すラスパイルズ指数は下回っているものの、地方税・普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源等に占める人件費の割合が高いことから、グループ内平均を上回っているものである。今後とも、職員数の縮減、職員給の見直し等により、人件費の削減に努めることとしている。



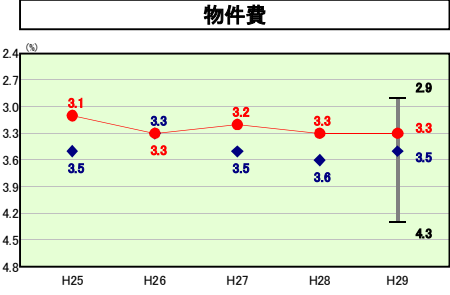
扶助費の分析

扶助費に係る経常収支比率は、グループ内平均を上回る2.6%となっている。これは、水災病関連の支出(水災病総合対策事業(H29事業費:39.5億円))があることなどにより、グループ内平均を上回っているものである。



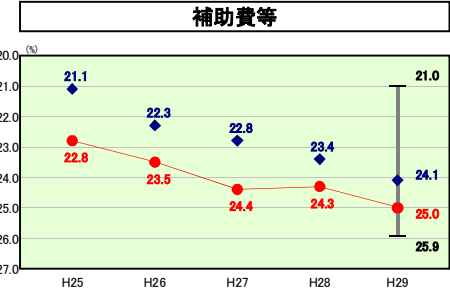
公債費の分析

公債費に係る経常収支比率は、前年度より0.8ポイント低下したものの、グループ内平均を上回る26.3%となっている。これは、最近の低金利を反映した加重平均利率の低下等により元利償還金が減少したものの、標準財政規模に対して県債残高が大きいためグループ内平均を上回っているものである。今後とも、臨時財政対策債等を除く本県が独自に発行する県債残高を抑制し、公債費負担を軽減していくこととしている。



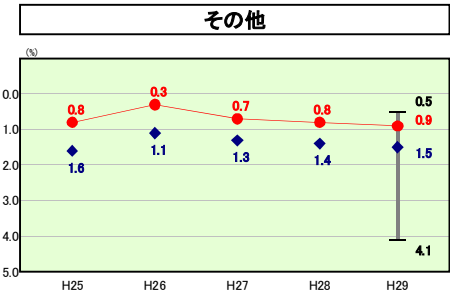
物件費の分析

物件費に係る経常収支比率は、前年度と同水準でグループ内平均を下回る3.3%となっている。これは、「行財政運営戦略」を踏まえ、一般政策経費の圧縮に取り組んできたことが反映されたものと考えられる。今後とも、必要性・効率性の観点からメリハリをつけた見直しに取り組むこととしている。



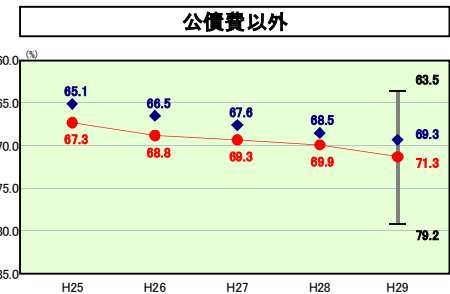
補助費等の分析

補助費等に係る経常収支比率は、前年度より0.7ポイント上昇しており、グループ内平均を上回る25.0%となっている。これは、子ども子育て支援制度移行に伴う施設型給付費負担金など少子高齢化の進展に伴い社会保障等に要する経費が増加するなか、基金繰入金が前年度に比べ減少したことなどで社会保障等に要する経費に充当する一般財源が増加したこと等により増となったものである。今後とも、社会保障の充実に対応しつつ、医療や介護分野の適正な制度運営に努める必要がある。



その他の分析

その他は維持補修費と貸付金であり、その大部分は維持補修費で占められている。その他に係る経常収支比率は、前年度より0.1ポイント上昇したものの、グループ内平均を下回る0.9%となっている。これは、「県政刷新大綱」や「行財政運営戦略」を踏まえ、民間委託の推進等、事務事業見直しに取り組んできたことによるものである。今後とも、必要性・効率性の観点からメリハリをつけた見直しに取り組むこととしている。



公債費以外の分析

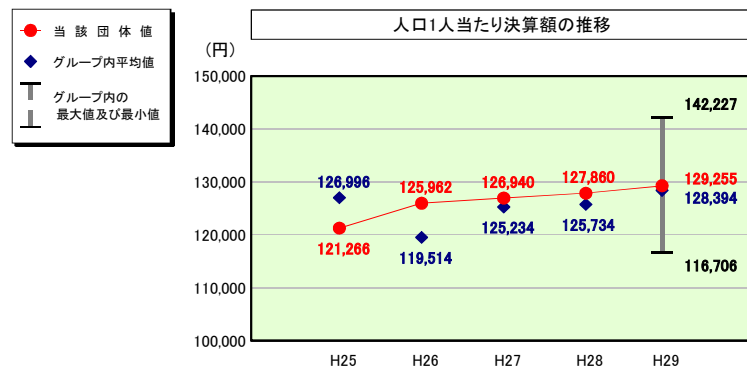
公債費以外に係る経常収支比率は、グループ内平均を上回る71.3%となっている。これは、人件費や補助費等に係る経常収支比率がグループ内平均を上回っていることなどによるものであり、人件費や補助費等の増などにより、前年度より0.4ポイント上昇している。今後とも、必要性・効率性の観点からメリハリをつけた見直しに取り組むこととしている。

(4)-2 都道府県経常経費分析表(普通会計決算)

平成29年度

鹿児島県

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	グループ内平均 (円)	対比 (%)
人件費	225,044,944	135,906	136,377	▲ 0.3
賃金 (物件費)	705,907	426	382	▲ 11.5
公営企業 (法適) 等に対する繰出し (補助費等)	2,478,041	1,497	819	▲ 82.8
公営企業 (法適) 等に対する繰出し (投資及び出資金・貸付金)	-	-	-	-
公営企業 (法非適) 等に対する繰出し (繰出金)	10,384	6	7	▲ 14.3
事業費支弁に係る職員の人件費 (投資的経費)	2,729,607	1,648	2,428	▲ 32.1
▲退職金	▲ 16,937,317	▲ 10,229	▲ 11,619	▲ 12.0
合計	214,031,566	129,255	128,394	0.7

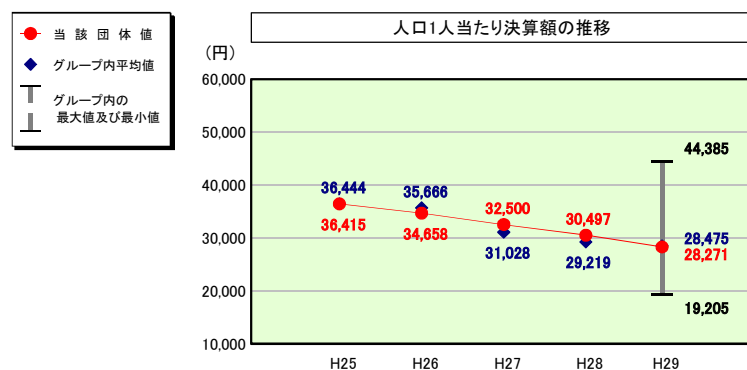
参考

	当該団体	グループ内平均	対比 (差引)
人口100,000人当たり職員数 (人)	1,438.99	1,451.45	▲ 12.46
ラスパイレス指数	96.8	99.2	▲ 2.4

(注) 人口については、各調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

(注) 参考については、地方公務員給与実態調査に基づくものであるが、当該資料作成時点 (平成31年1月末時点) において平成30年調査結果が未公表であるため、前年度の数値を引用している。

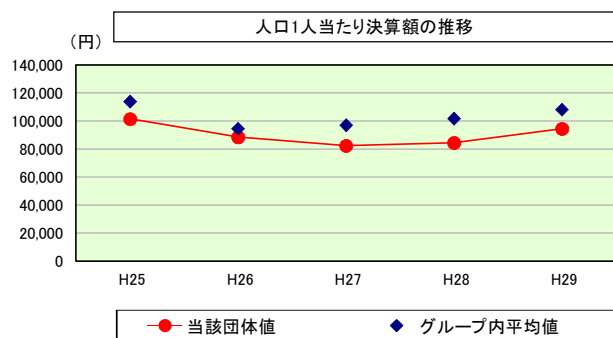
公債費及び公債費に準ずる費用の分析



公債費及び公債費に準ずる費用 (実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	グループ内平均 (円)	対比 (%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	103,055,086	62,236	76,176	▲ 18.3
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	24,644,477	14,883	3,943	277.5
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	1,209,907	731	1,855	▲ 60.6
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	-	-	162	-
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	1,796,340	1,085	954	13.7
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	2	-
▲特定財源の額	▲ 2,562,241	▲ 1,547	▲ 2,895	▲ 46.6
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 81,329,724	▲ 49,115	▲ 51,722	▲ 5.0
合計	46,813,845	28,271	28,475	▲ 0.7

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

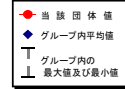
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体 (円)	増減率 (%) (A)	グループ内平均 (円)	増減率 (%) (B)	(A)-(B)
H25	172,963,295	101,556	11.8	114,030	15.2	▲ 3.4
うち単独分	37,356,573	21,934	▲ 7.1	24,881	0.0	▲ 7.1
H26	149,772,394	88,548	▲ 12.8	94,715	▲ 16.9	4.1
うち単独分	39,329,076	23,252	6.0	24,902	0.1	5.9
H27	138,355,945	82,379	▲ 7.0	97,161	2.6	▲ 9.6
うち単独分	36,999,543	22,030	▲ 5.3	26,543	6.6	▲ 11.9
H28	140,923,577	84,486	2.6	101,731	4.7	▲ 2.1
うち単独分	37,402,221	22,423	1.8	26,906	1.4	0.4
H29	156,672,429	94,615	12.0	108,224	6.4	5.6
うち単独分	39,762,749	24,013	7.1	27,358	1.7	5.4
過去5年間平均	151,737,528	90,317	1.3	103,172	2.4	▲ 1.1
うち単独分	38,170,032	22,730	0.5	26,118	2.0	▲ 1.5

(5) 都道府県性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

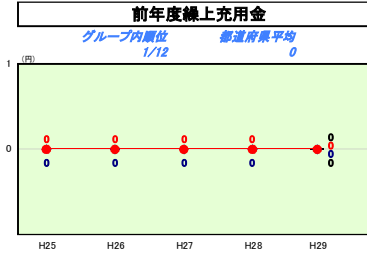
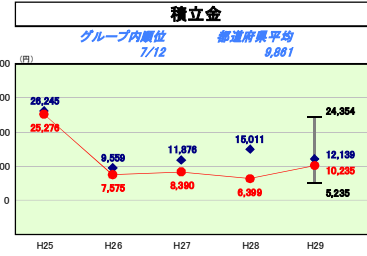
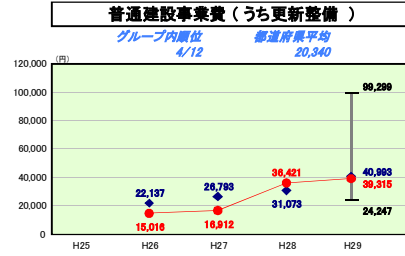
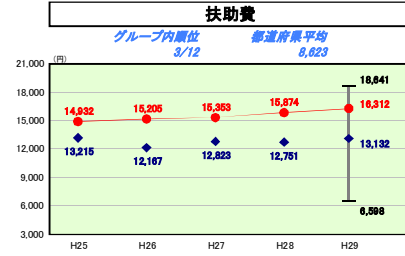
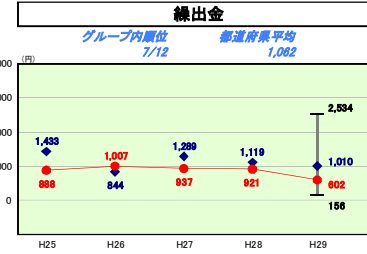
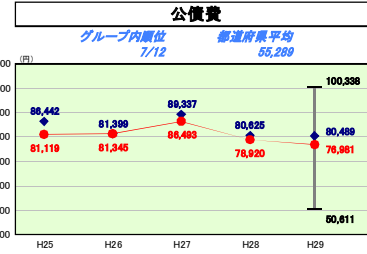
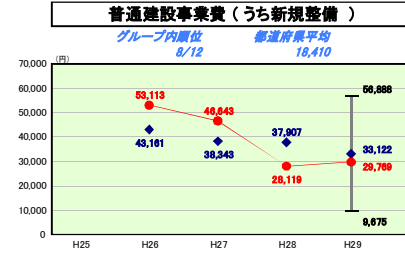
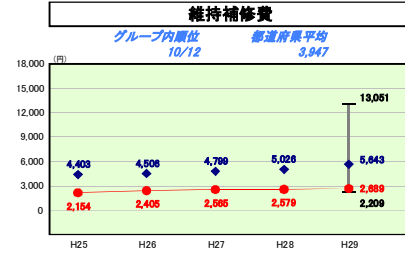
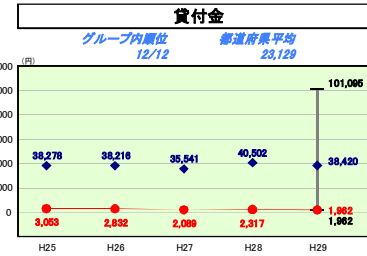
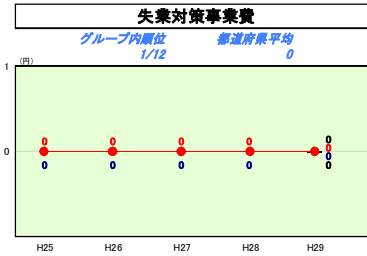
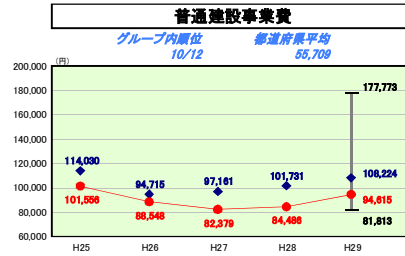
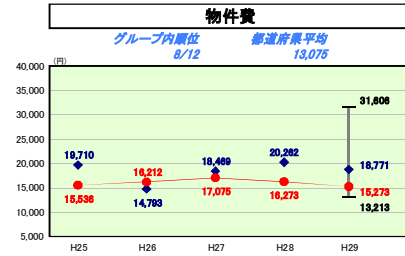
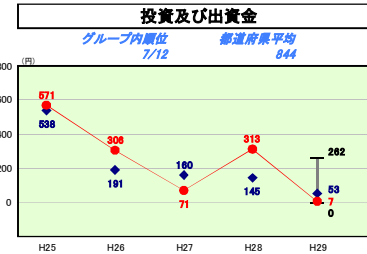
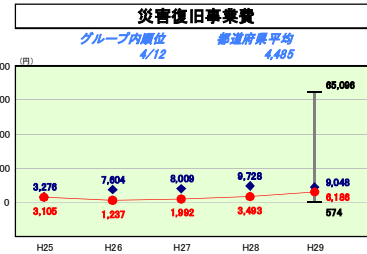
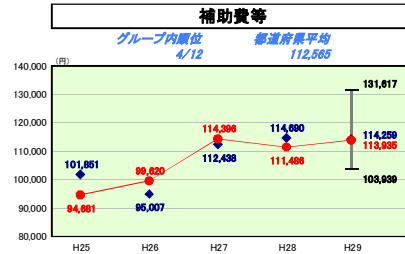
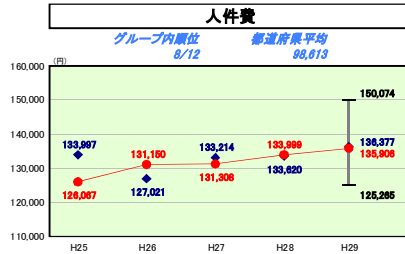
平成29年度

鹿児島県

人口	1,655,888人(930.1.1現在)	実赤字比率	-%
うち日本人	1,646,915人(930.1.1現在)	運営実赤字比率	-%
面積	9,197.01km ²	実公債費比率	12.8%
歳入総額	805,010,053千円	得未負担比率	219.9%
歳出総額	786,055,448千円	グループ	H25 E H26 D H27 D
実収支	3,469,683千円	(年度毎)	H28 D H29 D
標準財政規模	476,495,084千円		
地方債現在高	1,622,293,585千円		



※ グループとは、道府県を財政力指数の高低によって5つに分類したものである。
 [Aグループ 1000以上、Bグループ 0.500以上1.000未満、Cグループ 0.400以上0.500未満、Dグループ 0.300以上0.400未満、Eグループ 0.300未満]
 ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成29年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。
 ※ グループ内順位及び都道府県平均は、平成29年度決算の状況である。また同一グループの団体が存在しない場合グループ内順位を表示しない。



性質別歳出の分析

- 歳出決算総額は、住民一人当たり474,703円となっている。
- 人件費は、国の要請等に対応して実施した職員の給与削減措置の影響により平成25年度は減少している。平成29年度は給与と退職者の増に伴う退職手当の増などにより住民一人当たり1,907円増加したもののグループ内平均を下回っている。
- 補助費等は、住民一人当たり113,935円とグループ内平均を下回っている。地方消費税の税収減に伴う地方消費税市町村交付金の減により減少した平成28年度を除くと、近年は増加傾向にあるが、これは子ども子育て支援制度移行に伴う施設型給付費負担金など少子高齢化の進展に伴い、社会保障等に要する経費が増加していることによるものである。
- 普通建設事業費は、住民一人当たり94,615円とグループ内平均を下回っている。前年度に比べ住民一人当たり10,129円増加しているが、これは、国の経済対策等に伴う畜産関連事業等の繰越事業が増えたことや国体に向けた施設整備が本格化し事業量が増えたことによるものである。
- 災害復旧事業費は、住民一人当たり6,186円とグループ内平均を下回っている。前年度に比べ住民一人当たり2,693円増加しているが、これは、平成28年度発生災害に係る繰越事業である河川等災害復旧事業費の増などによるものである。
- 積立金は、住民一人当たり10,235円とグループ内平均を下回っている。前年度に比べ住民一人当たり3,836円増加しているが、これは社会保障等に要する経費が増加傾向にあることから、その財源を確保するため、県有地売却により生じた財源を安心・安全ふると創生基金に積み立てたことなどによるものである。

(6) 都道府県目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

平成29年度

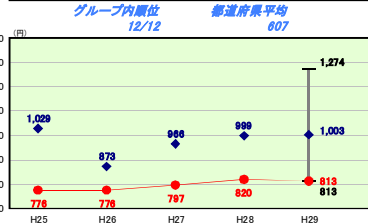
鹿児島県

人口	1,655,888人(930.1.1現在)	実赤字比率	-	%
うち日本人	1,646,915人(930.1.1現在)	通算実赤字比率	-	%
面積	9,197.01km ²	実公債費比率	12.8	%
歳入総額	805,010,053千円	実赤字比率	219.9	%
歳出総額	786,055,446千円	グループ	H25 E H26 D H27 D	
実収支	3,469,683千円	(年度毎)	H28 D H29 D	
標準財政規模	476,495,084千円			
地方債現在高	1,622,293,585千円			

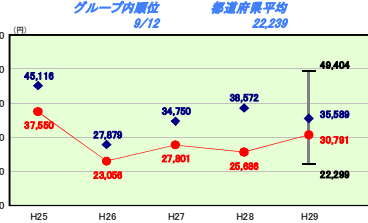
● 当該団体値
◆ グループ内平均値
└ グループ内の最大値及び最小値

※ グループとは、道府県を財政力指数の高低によって5つに分類したものである。
 [Aグループ 1000以上、Bグループ 0.500以上1000未満、Cグループ 0.400以上0.500未満、Dグループ 0.300以上0.400未満、Eグループ 0.300未満]
 ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成29年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。
 ※ グループ内順位及び都道府県平均は、平成29年度決算の状況である。また同一グループの団体が存在しない場合グループ内順位を表示しない。

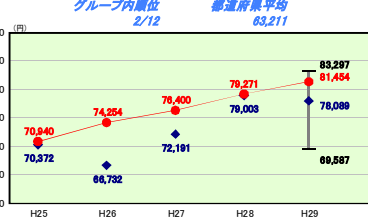
議会費
グループ内順位 12/12 都道府県平均 607



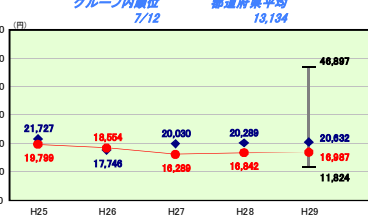
総務費
グループ内順位 6/12 都道府県平均 22,239



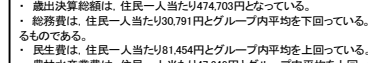
民生費
グループ内順位 2/12 都道府県平均 63,211



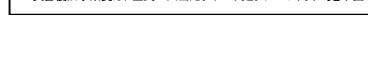
衛生費
グループ内順位 7/12 都道府県平均 13,134



労働費
グループ内順位 12/12 都道府県平均 1,291



農林水産業費
グループ内順位 4/12 都道府県平均 16,339



警察費
グループ内順位 8/12 都道府県平均 25,554

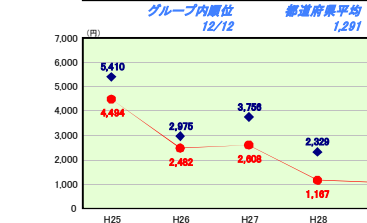
教育費
グループ内順位 5/12 都道府県平均 76,142

災害復旧費
グループ内順位 4/12 都道府県平均 4,485

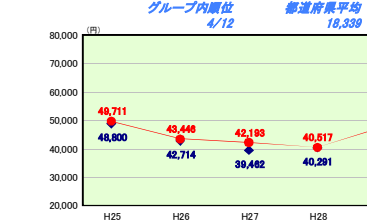
公債費
グループ内順位 7/12 都道府県平均 55,447

前年度繰上充用金
グループ内順位 1/12 都道府県平均 0

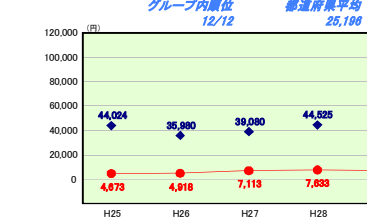
農林水産業費
グループ内順位 4/12 都道府県平均 16,339



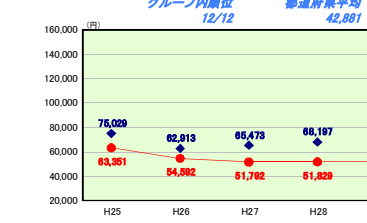
農林水産業費
グループ内順位 4/12 都道府県平均 16,339



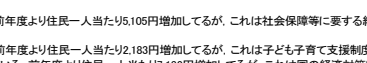
農林水産業費
グループ内順位 4/12 都道府県平均 16,339



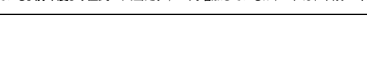
農林水産業費
グループ内順位 4/12 都道府県平均 16,339



農林水産業費
グループ内順位 4/12 都道府県平均 16,339



農林水産業費
グループ内順位 4/12 都道府県平均 16,339



目的別歳出の分析額

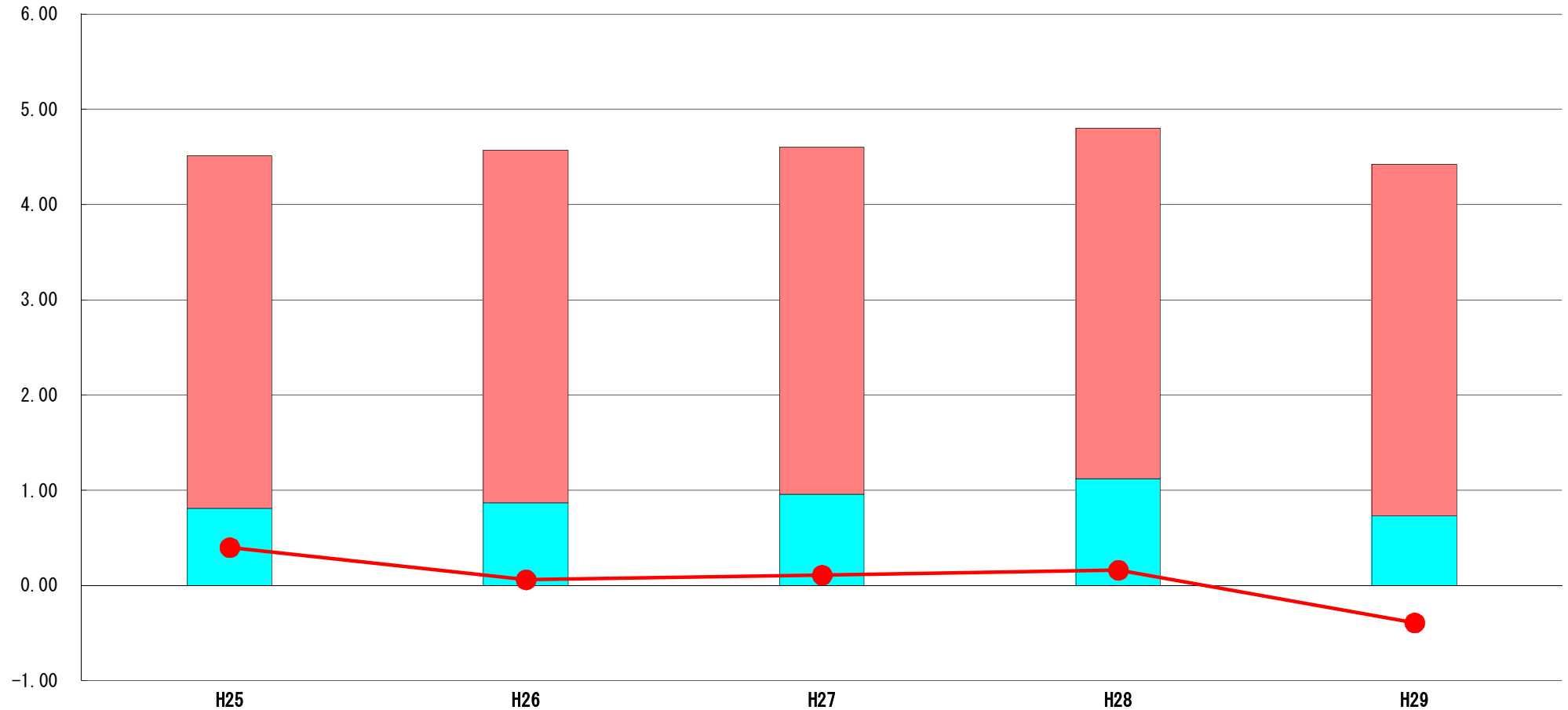
- 歳出決算総額は、住民一人当たり474,703円となっている。
- 総務費は、住民一人当たり30,791円とグループ内平均を下回っている。前年度より住民一人当たり5,105円増加しているが、これは社会保障等に要する経費が増加傾向にあることから、その財源を確保するため、県有地売却により生じた財源を安心・安全ふるさと創生基金に積み立てたことや国体に向けた施設整備が本格化し事業量が増えたことによるものである。
- 民生費は、住民一人当たり81,454円とグループ内平均を上回っている。前年度より住民一人当たり2,183円増加しているが、これは子ども子育て支援制度移行に伴う施設型給付費負担金など少子高齢化の進展に伴い社会保障等に要する経費が増加していることなどによるものである。
- 農林水産業費は、住民一人当たり47,649円とグループ内平均を上回っている。前年度より住民一人当たり7,132円増加しているが、これは国の経済対策等に伴う畜産関連事業等の縮減事業等の増加などによるものである。
- 警察費は、住民一人当たり22,667円とグループ内平均を下回っている。前年度より住民一人当たり795円増加しているが、これは警察施設整備事業費の増加などによるものである。
- 災害復旧事業費は、住民一人当たり6,186円とグループ内平均を下回っている。前年度より住民一人当たり2,693円増加しているが、これは、平成28年度発生災害に係る繰越事業である河川等災害復旧事業費の増などによるものである。

(7) 実質収支比率等に係る経年分析（都道府県）




平成29年度

鹿児島県

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

区分	年度	H25	H26	H27	H28	H29
 財政調整基金残高		3.70	3.70	3.64	3.68	3.69
 実質収支額		0.81	0.87	0.96	1.12	0.73
 実質単年度収支		0.40	0.06	0.11	0.16	▲ 0.39

分析欄

財政調整基金残高は、「県政刷新大綱」や「行財政運営戦略」に基づく歳入・歳出両面にわたる徹底した行財政改革の取組により、平成23年度以降財源不足が生じていないため、近年、同水準で推移している。

平成29年度は、前年度よりも実質収支が減少したため、実質単年度収支がマイナスとなったが、事業の効率的な執行に努めたことなどにより実質収支は黒字を維持している。

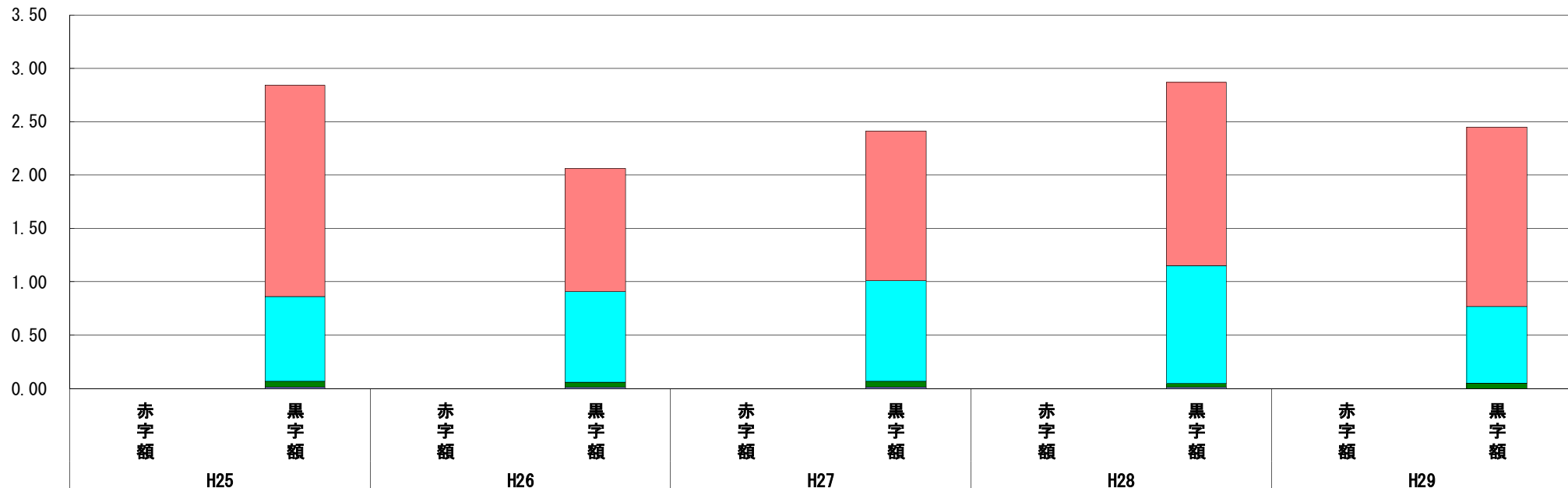
引き続き、持続可能な行財政構造を構築するため、行財政改革に取り組んでいく。

(8) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（都道府県）

平成29年度

鹿児島県

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

会計	年度				
	H25	H26	H27	H28	H29
鹿児島県病院事業特別会計	1.98	1.15	1.40	1.72	1.68
一般会計	0.79	0.85	0.94	1.10	0.72
鹿児島県工業用水道事業特別会計	0.06	0.05	0.06	0.04	0.05
公債管理特別会計	0.01	0.01	0.01	0.01	0.00
公共土木用地取得先行事業等特別会計	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
中小企業支援資金貸付事業特別会計	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
就農支援資金貸付事業特別会計	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他会計（赤字）	-	-	-	-	-
その他会計（黒字）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

分析欄

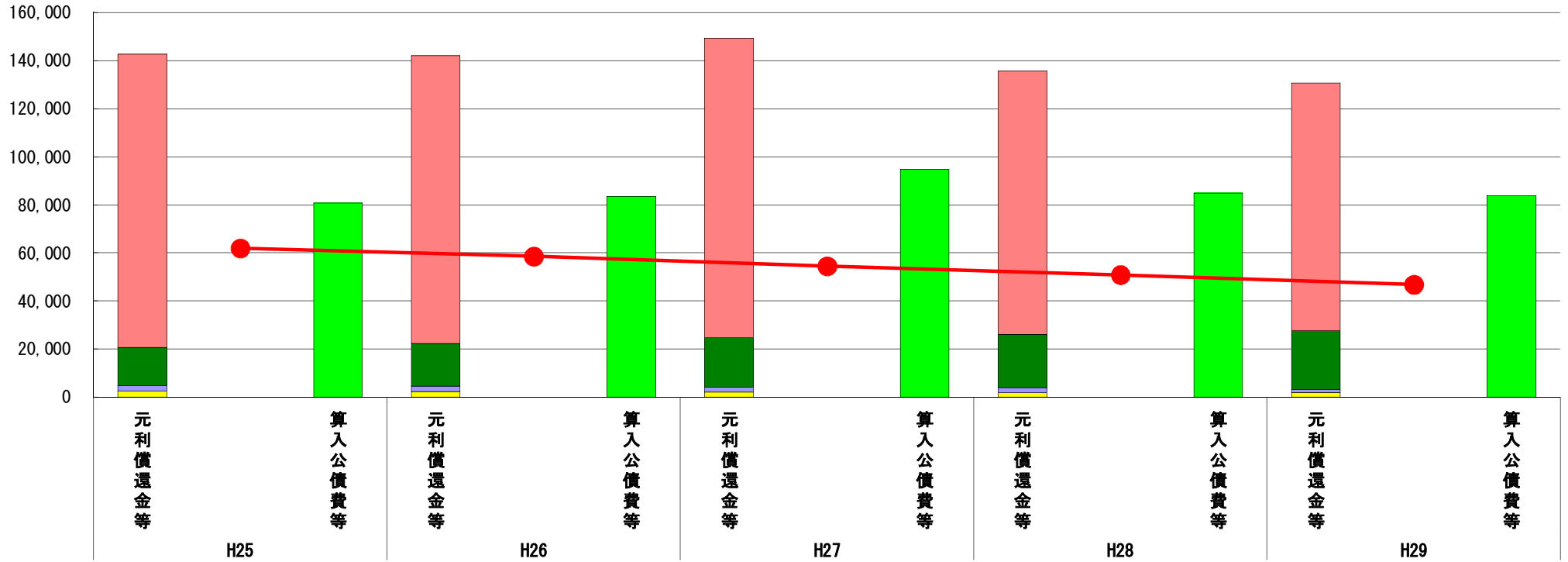
いずれの会計も赤字ではない。
 一般会計については、行財政改革の取組等により、また病院事業特別会計については、平成22年度に策定した県立病院事業中期事業計画（平成29年度からは第二次中期事業計画）などに基づく経営改革により黒字となっている。

(9) 実質公債費比率（分子）の構造（都道府県）

平成29年度

鹿児島県

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H25	H26	H27	H28	H29
元利償還金等 (A)	元利償還金		122,214	119,623	124,525	109,758	103,055
	減債基金積立不足算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		15,856	17,922	20,629	22,140	24,644
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		2,137	2,254	2,054	1,890	1,210
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		-	-	-	-	-
	債務負担行為に基づく支出額		2,563	2,216	2,103	1,932	1,796
	一時借入金の利子		-	-	-	-	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等		80,750	83,393	94,727	84,852	83,892
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		62,020	58,622	54,584	50,868	46,813

分析欄

実質公債費比率の分子は、平成23年度以降減少傾向にある。

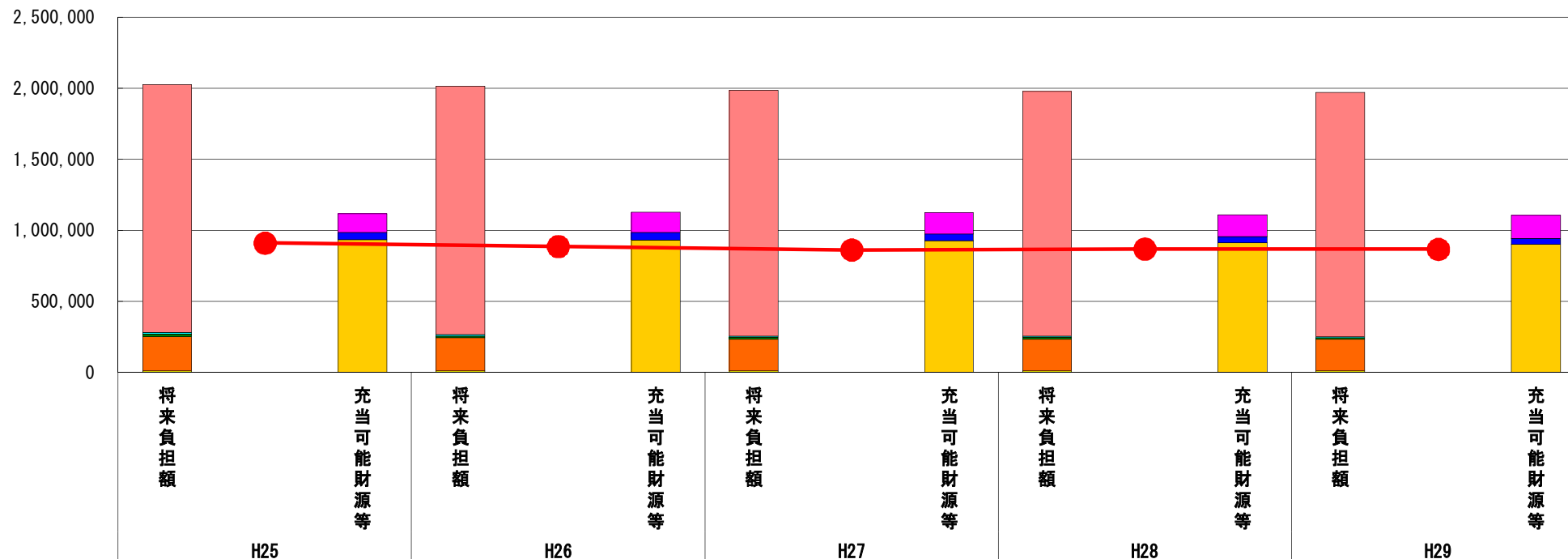
これは、満期一括償還の市場公募債に係る積立分への積立額が増加しているものの、過去に発行した県債の償還等により満期一括償還の市場公募債以外の元金償還が減少していることや、最近の低金利を反映して利子の支払が減少していることなどにより減少したものである。

(10) 将来負担比率（分子）の構造（都道府県）

平成29年度

鹿児島県

(百万円)



(百万円)

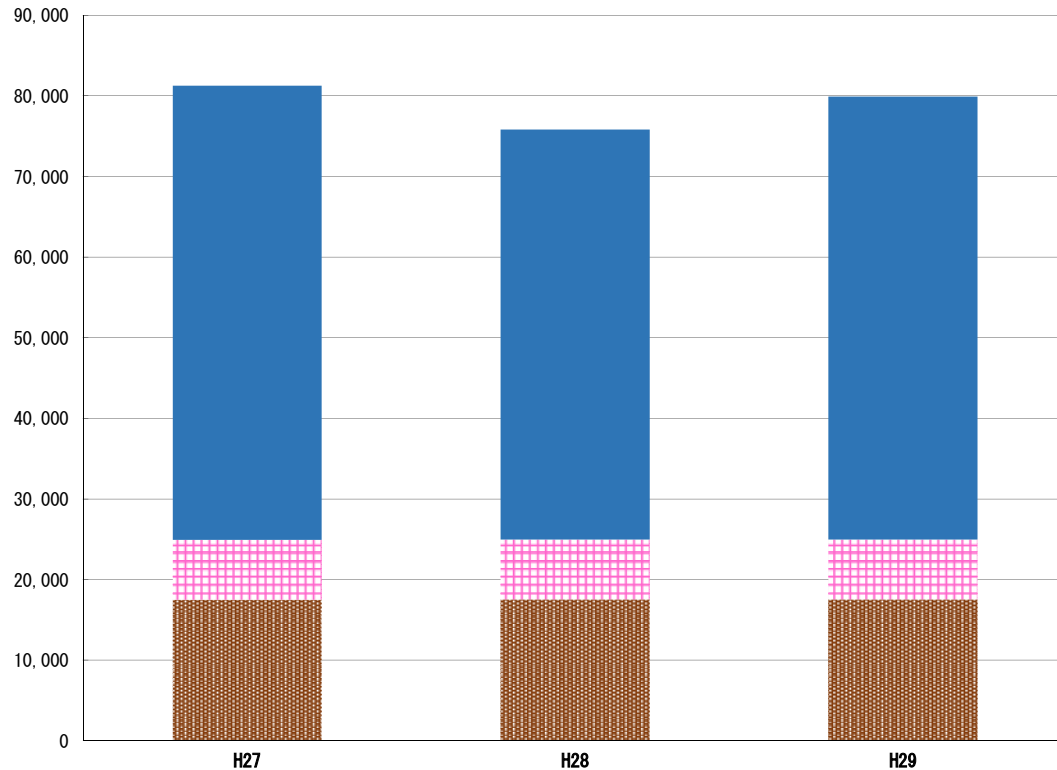
分子の構造		年度	H25	H26	H27	H28	H29
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		1,745,633	1,748,299	1,729,382	1,724,136	1,720,795
	債務負担行為に基づく支出予定額		12,570	10,451	8,999	7,288	5,755
	公営企業債等繰入見込額		17,035	13,865	13,587	13,395	12,066
	組合等負担等見込額		-	-	-	-	-
	退職手当負担見込額		239,563	232,070	224,141	224,679	223,668
	設立法人等の負債額等負担見込額		12,516	11,039	10,557	10,354	10,298
	うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		130,031	143,460	150,516	152,223	163,847
	充当可能特定歳入		53,225	52,255	46,125	45,333	41,124
	基準財政需要額算入見込額		932,827	932,511	927,040	912,607	900,528
(A) - (B)	将来負担比率の分子		911,233	887,498	862,985	869,688	867,083

分析欄

将来負担比率の分子は、近年、地方債の現在高の減等により減少傾向が続いている。
これは、臨時財政対策債等を除く本県独自発行ベースの地方債現在高の減や、将来負担額から控除される、「地方債の償還等に充当可能な基金」の増等によるものである。

(11) 基金残高（東日本大震災分を含む）に係る経年分析（都道府県）

(百万円)



(百万円)

区分	年度	H27	H28	H29
財政調整基金		17,528	17,545	17,556
減債基金		7,425	7,432	7,437
その他特定目的基金		56,343	50,862	54,935
安心・安全ふるさと創生基金		17,553	14,948	19,053
国民体育大会・全国障害者スポーツ大会施設整備等基金		10,038	9,240	7,982
後期高齢者医療財政安定化基金		4,710	5,040	5,372
鹿児島臨海環境整備基金		4,721	4,602	4,533
地域医療介護総合確保基金		1,258	2,683	3,682
基金残高合計		81,296	75,839	79,928

平成29年度

鹿児島県

基金全体

(増減理由)

その他特定目的基金の残高が前年度から4,073百万円増加したことなどにより基金全体としては4,089百万円の増となった。

その他特定目的基金については、国民体育大会・全国障害者スポーツ大会施設整備等基金が施設整備、開催準備、競技力向上等の各事業の財源として取り崩したことなどにより1,258百万円の減となった一方、安心・安全ふるさと創生基金が県有地売却に伴う財産収入を積み立てたことなどにより4,105百万円の増、地域医療介護総合確保基金が医療介護総合確保促進法に基づく事業に要する経費に充当する国の補助金及び一般財源を積み立てたことなどにより999百万円の増となったことなどにより増となった。

(今後の方針)

財政調整基金残高は、「県政刷新大綱」や「行財政運営戦略」に基づく歳入・歳出両面にわたる徹底した行財政改革の取組により、平成23年度以降財源不足が生じていないため、近年、同水準で推移している一方、人口や標準財政規模が類似する団体と財政調整に活用可能な基金の残高を比較すると、本県の残高は少ない方であり、今後とも安定的な財政運営を行うためには基金の充実が必要であると考えている。

また、特定目的基金については、支出が複数年にわたる事業や特定の政策目的のために今後も適切に運用していく必要があると考えている。

財政調整基金

(増減理由)

前年度から11百万円増加しているが、これは運用益によるものである。

(今後の方針)

「県政刷新大綱」や「行財政運営戦略」に基づく歳入・歳出両面にわたる徹底した行財政改革の取組により、平成23年度以降財源不足が生じていないため、近年、同水準で推移している一方、人口や標準財政規模が類似する団体と財政調整に活用可能な基金の残高を比較すると、本県の残高は少ない方であり、今後とも安定的な財政運営を行うためには基金の充実が必要であると考えている。

減債基金

(増減理由)

前年度から5百万円増加しているが、これは運用益によるものである。

(今後の方針)

「県政刷新大綱」や「行財政運営戦略」に基づく歳入・歳出両面にわたる徹底した行財政改革の取組により、平成23年度以降財源不足が生じていないため、近年、同水準で推移している一方、人口や標準財政規模が類似する団体と財政調整に活用可能な基金の残高を比較すると、本県の残高は少ない方であり、今後とも安定的な財政運営を行うためには基金の充実が必要であると考えている。

その他特定目的基金

(基金の使途)

- ①安心・安全ふるさと創生基金
子どもから高齢者まですべての県民が生涯にわたって安心して安全に暮らすことができる地域社会の創生に向けた施策を推進すること。
- ②国民体育大会・全国障害者スポーツ大会施設整備等基金
第75回国民体育大会及び第20回全国障害者スポーツ大会の施設整備、運営等に資すること。

(増減理由)

- ①安心・安全ふるさと創生基金
介護保険負担事業等に充当した一方で、県有地売却に伴う財産収入や県税の増等により生じた財源を積み立てたため増となった。
- ②国民体育大会・全国障害者スポーツ大会施設整備等基金
第75回国民体育大会と第20回全国障害者スポーツ大会の開催のための施設整備等や運営等に要する経費に充てるため、運用益及び標準等使用料収入を積み立てた一方、施設整備、開催準備、競技力向上等の各事業の財源として取り崩したため減となった。

(今後の方針)

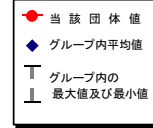
- ①安心・安全ふるさと創生基金
今後主な充当対象である社会保障等に要する経費が増加し続けることを踏まえ、基金の財源確保に努めるとともに、当該事業に積極的に活用していく予定。
- ②国民体育大会・全国障害者スポーツ大会施設整備等基金
2020年度まで、運用益や募金収入等を基金に積み立て、大会の開催に向けた施設整備、開催準備、競技力向上等の各事業に全額充当する予定。

(12) 都道府県公会計指標分析／財政指標組合せ分析表

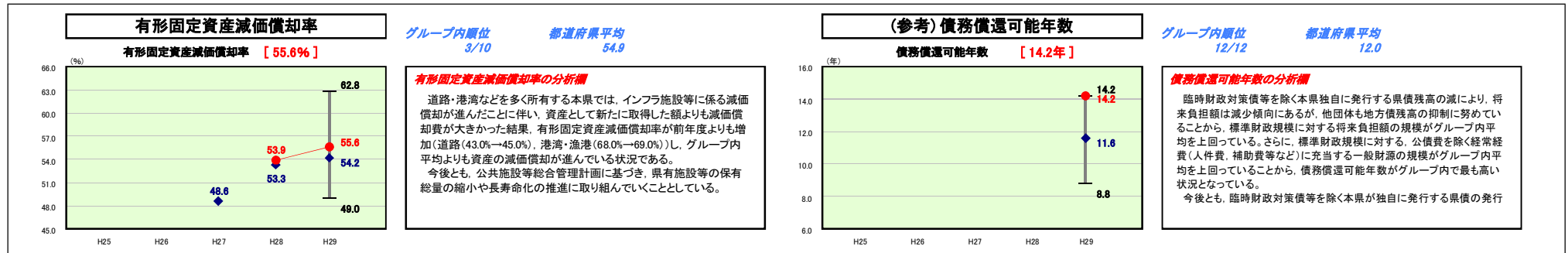
平成29年度

鹿児島県

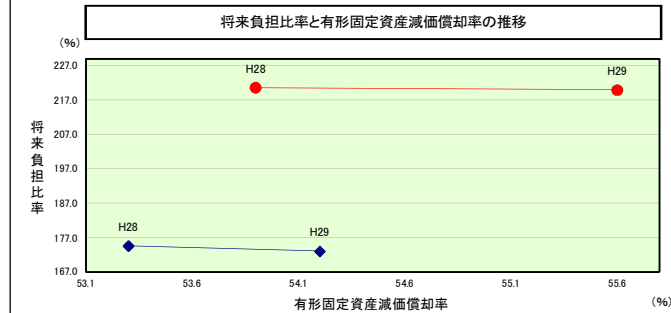
人	1,655,888	人(H30.1.1現在)	-	%
うち日本人	1,646,915	人(H30.1.1現在)	-	%
面積	9,187.01	km ²		
歳入総額	805,010,053	千円		
歳出総額	786,055,448	千円		
実質収支	3,469,683	千円		
標準財政規模	475,495,084	千円		
地方債現在高	1,622,293,585	千円		
実質赤字比率			-	%
連結実質赤字比率			-	%
実質公債費比率			12.8	%
将来負担比率			219.9	%
グループ	H25	E	H26	D
(年度毎)	H28	D	H29	D



※ グループとは、道府県を財政力指数の高低によって5つに分類したものである。
 [Aグループ 1.000以上、Bグループ 0.500以上1.000未満、Cグループ 0.400以上0.500未満、Dグループ 0.300以上0.400未満、Eグループ 0.300未満]
 ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。
 ※ グループ内順位及び都道府県平均は、平成29年度決算の状況である。また同一グループの団体が存在しない場合、グループ内順位を表示しない。



将来負担比率及び有形固定資産減価償却率の組合せによる分析



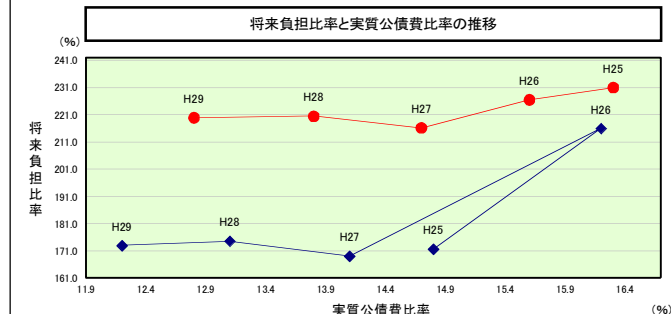
分析欄

将来負担比率と有形固定資産減価償却率のいずれもグループ内平均よりも高い状況となっている。また、臨時財政対策債等を除く本県独自に発行する県債の発行を抑制する一方で、道路や港湾などインフラ施設等に係る減価償却が進んだことにより、グループ内平均と同様に、将来負担比率は低下、有形固定資産減価償却率は上昇という傾向にある。
 今後は、引き続き臨時財政対策債等を除く本県が独自に発行する県債の発行を抑制することなどにより将来負担の抑制を図りつつ、公共施設等総合管理計画に基づき、県有施設等の保有総量の縮小や長寿命化の推進に取り組んでい必要がある。

(参考)

		H25	H26	H27	H28	H29
当該団体値	将来負担比率				220.5	219.9
	有形固定資産減価償却率				53.9	55.6
グループ内平均値	将来負担比率				174.6	173.0
	有形固定資産減価償却率				53.3	54.2

将来負担比率及び実質公債費比率の組合せによる分析



分析欄

将来負担比率については、平成23年度に策定した「行財政運営戦略」を踏まえた臨時財政対策債等を除く本県独自に発行する県債残高を抑制する取組により低下しており、実質公債費比率についても、最近の低金利を反映した加重平均利率の低下等により、元利償還金が減少したこと等から、単年度の実質公債費比率が低下している。しかし、他団体も地方債残高の抑制に努めており、標準財政規模に対する県債残高がグループ内他団体を引き続き上回っていることから、将来負担比率、実質公債費比率ともに、引き続きグループ内平均を上回る状況が続いている。
 今後とも、臨時財政対策債等を除く本県が独自に発行する県債の発行を抑制することなどにより、将来の公債費負担の抑制を図ることとしている。

(参考)

		H25	H26	H27	H28	H29
当該団体値	将来負担比率	231.0	226.4	216.2	220.5	219.9
	実質公債費比率	16.3	15.6	14.7	13.8	12.8
グループ内平均値	将来負担比率	171.7	216.0	169.1	174.6	173.0
	実質公債費比率	14.8	16.2	14.1	13.1	12.2

(13)-1都道府県施設類型別ストック情報分析表①

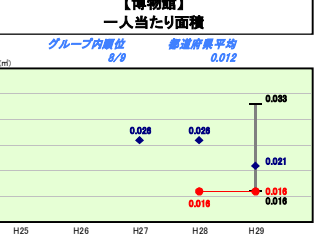
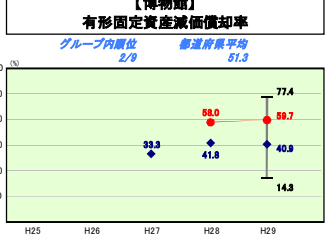
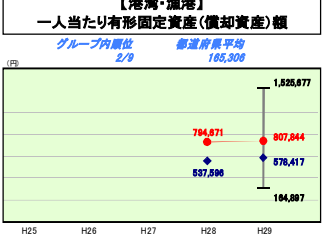
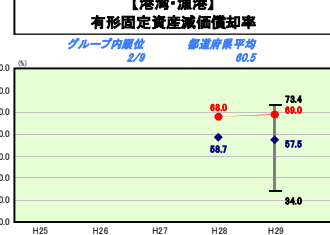
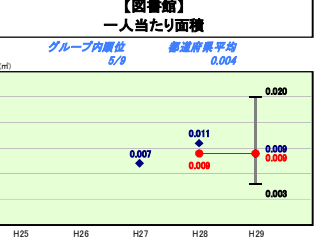
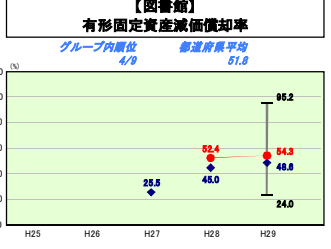
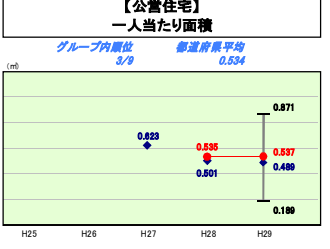
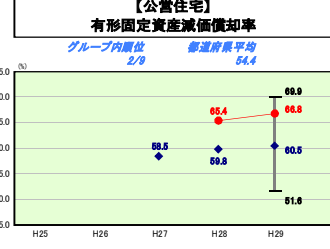
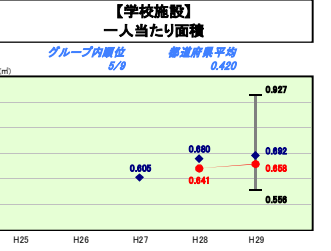
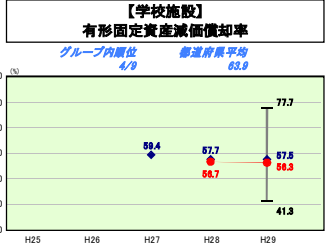
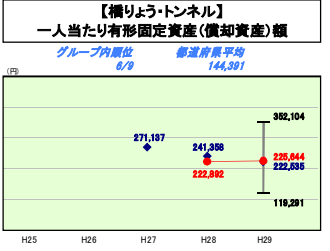
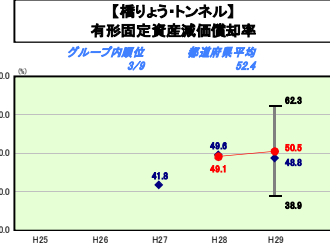
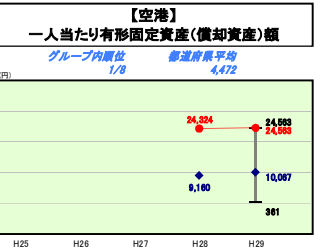
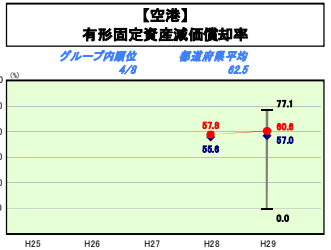
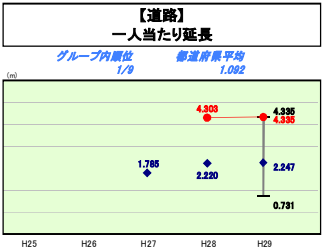
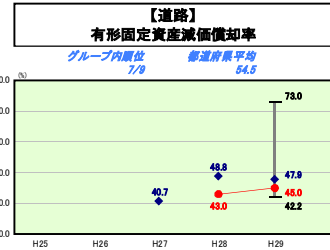
平成29年度

鹿児島県

人口	1,655,688人(990.1.1現在)	実質赤字比率	-%
うち日本人	1,648,915人(990.1.1現在)	通債実赤字比率	12.8%
面積	9,187.01km ²	実質公費比率	219.9%
歳入総額	806,010,063千円	将来負担比率	グループ
歳出総額	786,055,448千円	グループ	H25 E H26 D H27 D
実収支	3,469,683千円	(年度毎)	H25 D H29 D
標準財政規模	475,486,084千円		
地方債残高	1,822,293,595千円		

- 当該団体値
- ◆ グループ内平均値
- ⊥ グループ内の最大値及び最小値

※ グループとは、道府県を財政力指数の高低によって分類したものである。
 (Aグループ 1,000以上、Bグループ 0.500以上1,000未満、Cグループ 0.400以上0.500未満、Dグループ 0.300以上0.400未満、Eグループ 0.300未満)
 ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成29年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。
 ※ グループ内順位及び都道府県平均は、平成29年度決算の状況である。また同一グループの団体が存在しない場合グループ内順位を表示しない。



施設情報の分析値

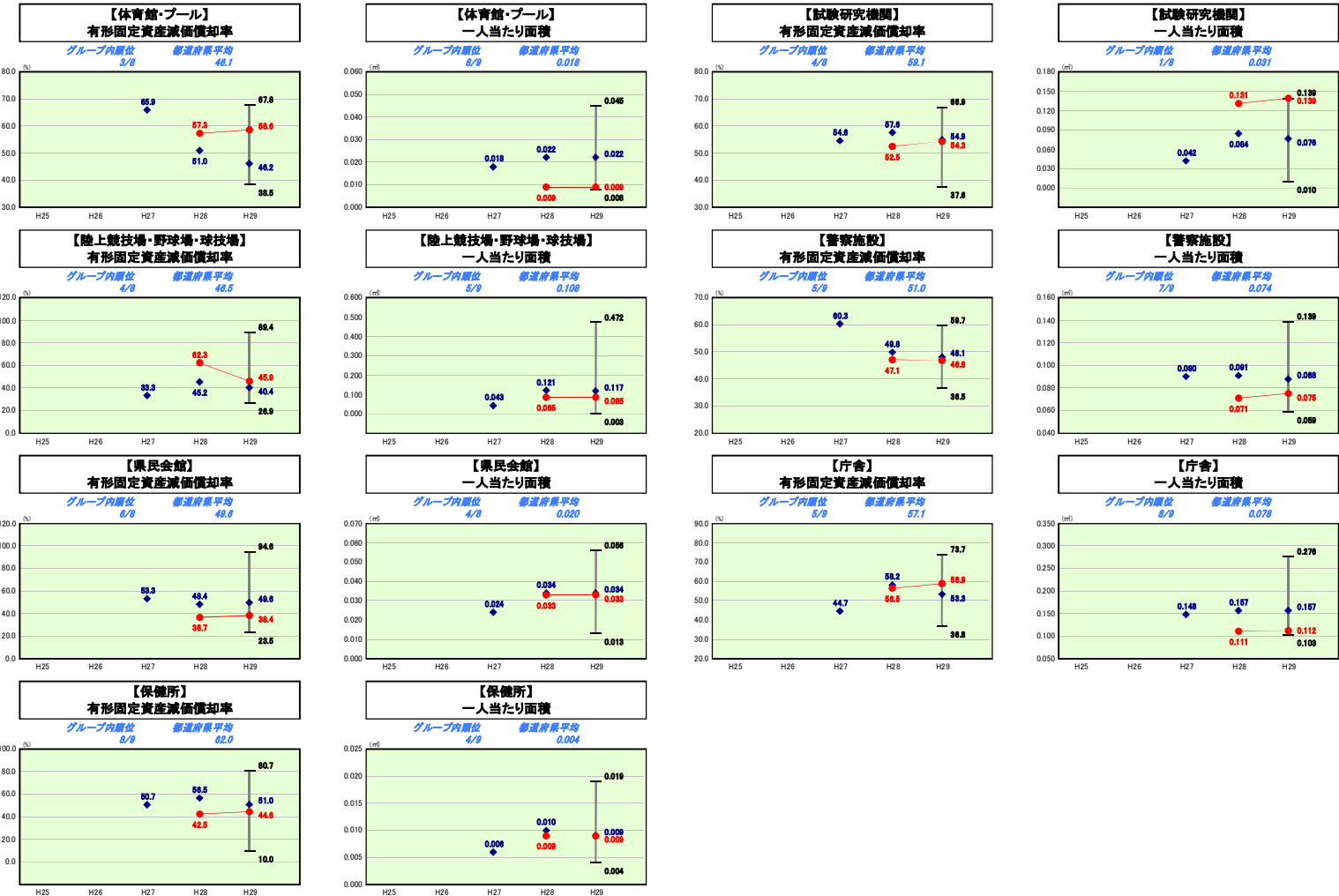
- ほとんどの類型において、有形固定資産減価償却率はグループ内平均を上回っているが、道路、学校施設、県民会館、保育所、試験研究機関、警察施設においてはグループ内平均を下回っている(次ページ含む)。
- 特に学校施設については、ほとんどの類型で前年度より有形固定資産減価償却率が増加している一方、学校施設の有形固定資産減価償却率は56.7%→56.3%と0.4ポイント減少している。
- これは、学校施設の老朽化に対応するため、平成28年3月に策定した「鹿児島県立学校の管理計画」に基づき校舎の改修等を実施しているためである。

(13)-2都道府県施設類型別ストック情報分析表②

人口	1,655,688人(900.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	1,648,915人(900.1.1現在)	通算実赤字比率	-	%
面積	9,187.01km ²	実質公費比率	12.8	%
歳入総額	806,010,063千円	将来負担比率	219.9	%
歳出総額	786,055,448千円	グループ	H25 E H26 D H27 D	
実質収支	3,469,683千円	(年度毎)	H28 D H29 D	
標準財政規模	475,486,084千円			
地方債現在高	1,822,293,895千円			

- 当該団体値
- ◆ グループ内平均値
- ┆ グループ内の最大値及び最小値

※ グループとは、道府県を財政力指数の高低によって分類したものである。
 (Aグループ 1.000以上、Bグループ 0.500以上1.000未満、Cグループ 0.400以上0.500未満、Dグループ 0.300以上0.400未満、Eグループ 0.300未満)
 ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成29年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。
 ※ グループ内順位及び都道府県平均は、平成29年度決算の状況である。また同一グループの団体が存在しない場合グループ内順位を表示しない。



施設情報の分析値

- ・ほとんどの類型において、前年度に比べ有形固定資産減価償却率が増加しているが、陸上競技場・野球場・球技場は62.3%→45.9%と16.4ポイント減少し、警察施設は47.1%→46.8%と0.3ポイント減少している。
- ・陸上競技場・野球場・球技場の減少については、平成29年度に令和2年度に開催される「燃ゆる感動かごしま国体」において使用される鴨池陸上競技場のトラックや電光掲示板等の改修工事等を行ったためであり、警察施設の減少については、平成29年度に老朽化した鹿児島西警察署の新庁舎整備を行ったためである。